

1.技 術	2.4 その他（資源回収、河川、森林等を含む）
2.事 業 名	2.4.58 省エネを実現する水処理再生膜のグレード分類に関する国際標準化
3.キーワード	省エネルギー、水処理技術、標準化
4.目的	<p>本事業は、使用済みの水処理膜を再生した再利用膜を性能によってグレード付けをする国際規格を開発するものである。これにより、性能に優劣のある再利用膜に適正な評価を与え、再利用膜の新たな市場創出に資するとともに、品質の良い日本製膜の差別化を図ることを目的としている。</p>
5.内容、成果	<p>省エネ効果に関しては、新膜の製造に比べて使用済み膜の再生工程に関わるCO₂排出量は非常に少なく、また、膜の再利用促進は、膜の廃棄を減らし、廃棄工程に関わるCO₂排出量も削減されるなど大きな効果がある。それは、水処理業界としての環境保全やSDGsのアピールにもなる。</p> <p>令和4年度は、前年度に引き続き再利用膜の性能確認試験をウォータープラザ北九州などの設備で実施し、ISOでの本規格案はWorking Draftが承認され次のStepである委員会原案(Committee Draft)の承認を目指している。</p>
6.参照	本事業は、(株)野村総合研究所からの委託事業として実施したものである。